

ごあいさつ

代表世話役 西本 孝

日本自然保護協会岡山県自然観察指導員連絡会は、2016年6月に、19年ぶりに活動を再開しました。自然観察指導員で、岡山県の連絡会に関係する皆様に活動再開のご挨拶をさせていただきます。

私は、この会の再開にあたり前会長の武田満子さんから引き継ぎ、皆さんからの推薦を受けて、代表世話役として、5名の世話役とともに会の運営をさせていただくことになりました。発足総会は、26名の参加を得て6月18日に開催しました。当日欠席の連絡をいただいた9名の方を含めて、35名の方が会の活動に参加する意思表示をされました。今後は会員の皆様と一緒に、自然観察を通じて自然の不思議さを実感しながら、充実した楽しい時間を持ちたいと思っております。微力ですが、どうぞよろしくお願い致します。

岡山県自然観察指導員連絡会 2016年次総会報告

西本

1. 開催

2016年6月18日(土) 10:00~12:30

岡山県自然保護センター研修室

2. 出席者

26名 自己紹介

3. 連絡会の名称

正式名称「日本自然保護協会岡山県自然観察指導員連絡会」

愛称「NOI 岡山」(Nature Observation Instructorの頭文字から)

呼称「エヌオーアイおかやま」(別名ナンバーワンおかやま)

「岡山指導員連絡会」、「NAOIN 岡山連絡会」等の原案を元にして、会場からの発案で決定した。

4. 連絡会の基本方針

別紙の基本方針の案を元に協議した。協議した内容を元にして会則を決定し、発効した。

1) 会員

定義：正会員と学生会員とする
参加の意思表示をした人

(会費を支払う意思のある人)

資格：日本自然保護協会の自然観察指導員の名簿に掲載されている人に対して、連絡会に参加するかどうかの問いかけをして、意思表示をした人。

2) 会費

正会員は年間1000円、学生会員は無料とし、総会

や観察会に参加した際に世話役に支払う。

2) 連絡方法

会誌の送付や連絡事項については、Eメールまたは郵送とする。

5. 世話役の選出

総会の合議で以下の会員に決定した。

代表世話役 西本 孝

世話役 橋本智明、永富 壽、宮林英子、勝部晴美、矢野公美子

6. 今後の活動

- ・総会は年1回(6月第3土曜日を定例とする)
- ・年数回の自然観察会を開催する。
観察会の世話役を求めたが、会場からは積極的な立候補はなかった。
- ・今年10月に一度開催することで合意した。
候補：津黒いきものふれあいの里、日程を館長の雪江さんと協議する。
- ・中国地方5県の自然観察指導員交流会の開催(担当は鳥取県連絡会)は日程がすでに決定済み
2016年10月29日・30日 鳥取県三徳山
- ・連絡会通信の発行は世話役が編集・発行する。
- ・総会後の報告については、編集後、郵送する。
総会については西本が作成し、午後の観察会は山根が作成する。

7. 自然観察会(13:15~15:00)

西本(代表世話役：岡山県自然保護センター職員)が敷地内を案内して、自然観察会を実施した。

第2回自然観察会の案内

雪江

- 開催日時：2016年10月22日(土) 10:00~15:00
- 集合場所：津黒いきものふれあいの里 ネイチャーセンターささゆり館(真庭市蒜山下和1077)
- アクセス：お車で 湯原ICから約20分 蒜山ICから約45分 ナビを使用される方へ住所検索、施設名検索等をお使い下さい(地図で場所をご確認ください)。

●スケジュール：

10:00 までに集合⇒開会・移動⇒10:30 津黒湿原の観察(湿地の動植物・湿原再生の経緯)⇒11:45 湿原出発⇒12:00 ささゆり館で昼食⇒12:45 散策道にて観察開始(湿地・溪流・タタラ跡・炭焼き小屋など)⇒14:45 ささゆり館に戻る⇒閉会⇒15:00 解散

中国地方5県の自然観察指導員交流会の案内

西本

交流会が三徳山・三朝温泉(鳥取県)で実施されます。希望者は西本(裏面の住所)まで連絡してください。

詳細をお知らせします(締切8月末日)。開催日：2016年10月29日(土)、10月30日(日)(1泊2日)



その1 ← コウホネ (河骨)

和名は水の中であって横にはう太くて白い地下茎が白のように見えることによる。葉は2型あり、水中葉（水の中にある葉）は細長く膜質（わかめのような感じの葉）で、抽水葉（水上にでる葉）は長卵形。

モリアオガエルの卵塊 →

コウホネの樹上に泡状の卵塊がオタマジャクシで落下（今年初めて観察された）。



その2 湿原について

栄養分が少ない水＝電気伝導率が（ $EC30 \mu S/cm$ ）程度で、ナトリウムイオンなど植物が生育するのに必要な栄養分が少ない水が流れる場所が湿原。

そこにしか生活できない植物がたくさんいるそうです。つまり栄養分が多くなると、栄養分を使って大きくなるため、競争に負けてしまう、とのことでした。自然保護センターの湿原では井戸水を使い、水質と水量を調整しながら給水しているそうです。



その3 ←モウセンゴケ

栄養分は虫からか？つまり栄養分が少ない湿原でも生活できるということでしょうか。



その4 湿原に油？

赤い色と水面に油のように見えるのは、花崗岩に含まれる鉄分が、酸素と結びついて酸化鉄となったもので、虹色の膜で表面に浮いた後、赤くなって沈殿。



その5 ←ハッコウトンボ (♂)

縄張りを作っているのので、1匹つけると1m圏内に必ずライバルが発見できるそうです。画面に入ったはずなのですが・・・

ハッコウトンボ (♀) →

画面中央に警告色彩（トラロープ模様）を見つけた人がいました。私はなかなか確認できませんでした。見えるかな？



自然観察会報告（やまちゃん）

まだまだお知らせしたい事（アヤメ科の花の戦略、コウホネの花の構造、ミツガシワの意外な繁栄、根がないサギソウの水分の確保法、オオミズゴケの生き残り戦略、乾燥した場所や尾根・やせ地・岩場などに生育するマツが湿原に侵入等）や共有したい内容がたくさんありました。自然は知れば知るほどおもしろい。欲望に身をまかせず、身の丈にあった生き方をしている自然界から学ばなければ。

岡山県自然観察指導員連絡会へのお誘い

西本

日本自然保護協会の自然観察指導員で、岡山県連絡会に参加を希望される方は連絡してください。会員になると、今後も連絡会通信などを通じて会の情報をお知らせします。申込の連絡先は西本まで。

〒701-2141 岡山市北区牟佐944-1 西本 孝。Eメールは taknishi@js4.so-net.ne.jp